

# 市が使ったお金は103億3,878万5千円

## 歳出

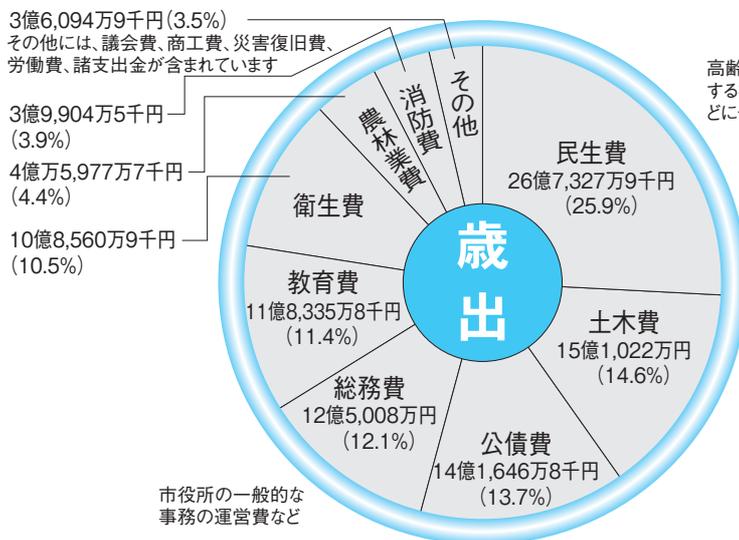
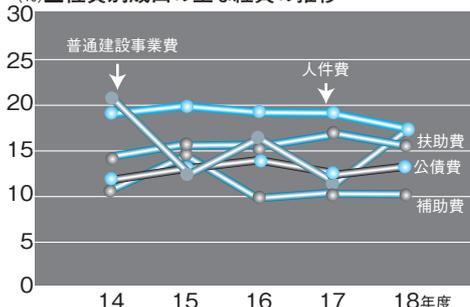
## 舟之言



今年2月に完成した北部小学校体育館

前年度と比較すると、市営住宅多久ステーション南ハイツや北部小学校体育館の建設事業により普通建設事業費が大幅増となり、全体で6億6,120万3千円の増となりました。

(%) ■ 性別別歳出の主な経費の推移



高齢者や障害者に対する福祉サービスなどに使われました

市は、市民税や固定資産税など皆さんからの市税や、国、県からの補助金などで、おもいやりのある市政を基本によりよい市民生活をめざし、市政を執行しています。そしてそのお金の使い途などの財政事情を年2回市報を通じて、皆さんにお知らせしています。今回は平成18年度決算と、平成19年度予算の執行状況（9月30日現在）についてお知らせします。



# 財

## 企業会計

## 特別会計

### ～水道事業会計～

平成18年度は、給水人口の減少・大型施設の使用休止等により水道使用量が減少、また用水供給による受水費の支出で3,544万5千円の純損失を生じました。

収益的	収入	6億274万5千円
	支出	6億3,819万円
資本的	収入	1億605万3千円
	支出	2億1,938万円



### ～病院事業会計～

平成18年度は医療費抑制政策や診療報酬の大幅な改定により患者数と医業収益が共に減少し、収益的収支は1億5,656万3千円の純損失を生じました。



収益的	収入	12億7,123万3千円
	支出	14億2,779万6千円
資本的	収入	4,152万7千円
	支出	6,476万5千円

会計名	区分	歳入	歳出	差引額
養護老人ホーム恵光園		8,913万5千円	8,913万5千円	0円
土地区画整理		6億4,343万9千円	6億3,286万4千円	1,057万5千円
公共下水道		6億4,659万4千円	6億4,248万7千円	410万7千円
農業集落排水		4,977万円	4,977万円	0円
簡易水道		2億4,290万6千円	2億1,830万1千円	2,460万5千円
老人保健		28億1,501万6千円	28億1,501万6千円	0円
国民健康保険		27億6,634万5千円	26億4,329万1千円	1億2,305万4千円

特別会計とは、地方公共団体が特定目的の事業を行う場合に、特定の歳入で特定の歳出にあて、一般会計と切り離して経理しているものです。

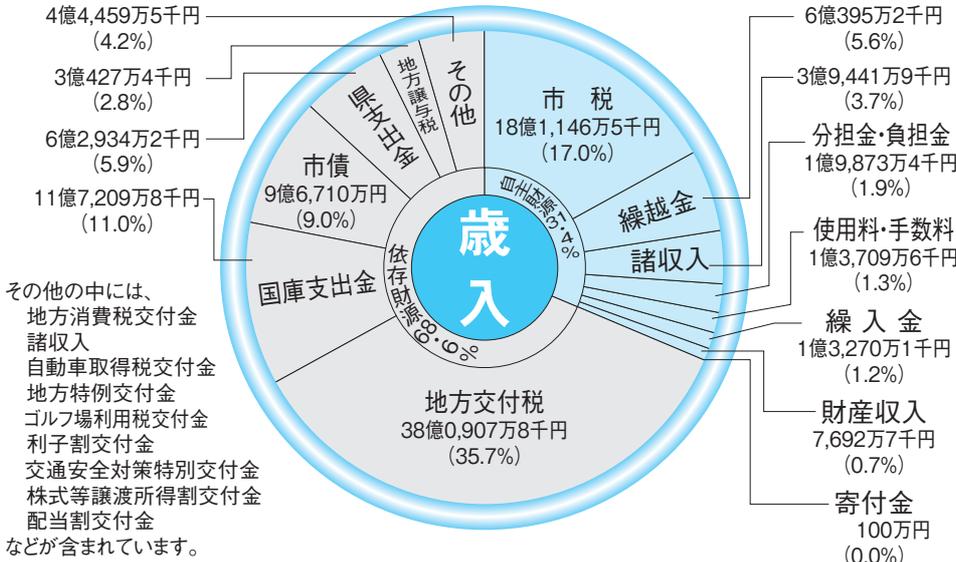
# 歳入

# 市に入ったお金は106億8,278万1千円

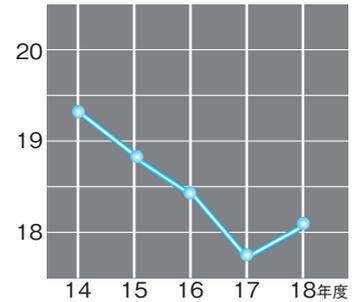
前年度と比較すると、4億124万6千円の増となりました。増減の主なものとしては、繰入金で4億6,366万1千円の減、国庫支出金で2億8,287万9千円の増、繰越金が2億5,177万4千円の増などです。

■市税の内訳(千円)

税目名	決算額
市民税	616,358
固定資産税	1,010,534
軽自動車税	52,709
市たばこ税	130,326
特別土地保有税	0
入湯税	1,538
計	1,811,465



(億円) ■市税の推移



# 政公表

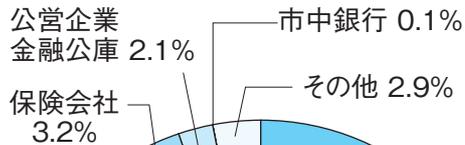
# 平成18年度決算

平成18年度一般会計決算は、歳入総額106億8,278万1千円、歳出総額103億3,878万5千円で、歳入歳出差引額は3億4,399万6千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源3,969万円を差し引いた実質収支は3億430万6千円の黒字となっています。

## 市債の状況

現在高 99億6,350万8千円(一般会計)

◎借入先別状況

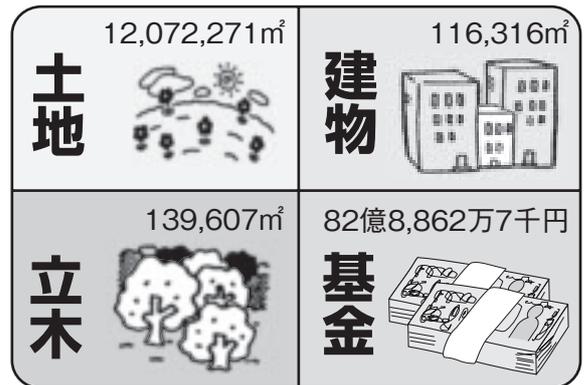


市民1人当たり  
438,496円

政府資金  
91.7%

**ポイント**  
市債とは多額の資金を必要とする事業を行うときに、借入れの資金のことです。なお償還(歳出の公債費)する財源は、主に市税や地方交付税が充てられています。

## 市有財産の状況



## 市民の負担と経費の状況

区分	皆さんが負担したお金	皆さんのために使われたお金
1人当たり	79,723円	455,012円
1世帯当たり	233,496円	1,332,661円

※上記金額は、平成19年3月31日の人口22,722人、世帯数7,758世帯で除した金額です。